

注、このコースはツルギ前が雪渓の無い9月以降がよい。

中芝新道は雪渓の崩壊で最初、雪渓と草付斜面に足を掛けて登るが危険の為、直上部のカラ沢へ入り、途中左側から巻道に入るが草付とガレで掴むことができて、止むを得ず10:00バックする。

谷川岳ロープウェーは全長2200m約20分、天神平駅1321mに着く、更にリフトで180mほど登る。何人とも良い日だろう……谷川岳の春は遅いせいか、眺める色

あとも新緑の感じがする。北に白毛門山～笠ヶ岳～朝日岳が重なり合っ高々とそびえ、正面は直距離2500mの谷川岳が青々と背を伸ばしている。

始めて眺める群馬の山、まるで方向感が狂って、地図を出しても直ぐ判らない。形でわかる武尊山、皇海山、燧ヶ岳等ほぼと

なでる気持ち、風は飽くことなく楽しませてくれる。

列車は深いトンネル内の土合駅に2:49到着。足元が見える程度の電灯の下、直ぐ階段を登る。後から続く登山者の群に追われて、休むこともできないまま、長い462段を一気に頑張り、続いて24段を登り切って、丁度3:00改札口を出る。駅前に立つ。外は真暗、ヒヤリとして涼しい。空には星が輝く。

土合地下トンネル 7/22 2:49着

登山指導センター 4:54～4:57

マカガ沢の岩壁に左倒され、キャンプ場を右下に、明るい樹林の道、カケスが鳴く。

駅より広い舗装道路を右へ曲り、ガードをくぐって右手奥、土合山ノ家を見ながら進む。左へ直角に曲り込むと、右に白毛門への分岐を分け、25の土合橋を渡ると、直ぐ右に達峠への新道がある。更に左へ曲り雪除けトンネルを出ると霊苑へ出る。

穂高岳、剣岳と並んで、日本三大岩場の一つに数えられている谷川岳一倉沢出合に立ち、半円状の沢にそびえる巨大な岩壁群を見上げるとき、先程頭を下げた霊苑の若くして血に染まっていたことを思うと、腹に力が入り、……驚嘆と畏怖の念がこみ上げてくるのを覚えると共に、もし自分が若かったら？……迫力ある妖しく魅了する……鈍い灰紫の岩壁、雪崩に腐かれた美しいスラブや深淵に、登攀意欲をそそいだかも知れない。

マイカーでの見物客のタリヤの倉沢に比べ、幽の沢は、青黒く波打つ皺の岩壁は眺めていても薄気味悪く、明るいの倉沢に対し、心からはまな、感じさせるスラブの塊りだ。

